

令和 6 年度第 3 回白井市国民健康保険運営協議会（書面開催） 概要

- 1 開催方法 書面表決書提出による開催
- 2 審議日時 令和 7 年 2 月 2 8 日（金）
※書面表決書の提出期限とした日
- 3 書面表決書提出者 松本千代子会長、根本孝一委員、岡野成幸委員、中世恵子委員、稲田忍委員、北田岳彦委員、瀬嵐康之委員、菊地秀樹委員、雨宮朋美委員、小川真理子委員

4 議 題

- 報告 1 令和 6 年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第 3 号）について
- 議題 1 令和 6 年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第 4 号）（案）について
- 議題 2 令和 7 年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定予算（案）について

5 表 決 結 果

- 報告 1 令和 6 年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第 3 号）について
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 意見あり | 0 件 | 意見なし | 1 0 件 |
| 承認する | 1 0 件 | 承認しない | 0 件 |
- 議題 1 令和 6 年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第 4 号）（案）について
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 意見あり | 0 件 | 意見なし | 1 0 件 |
| 承認する | 1 0 件 | 承認しない | 0 件 |
- 議題 2 令和 7 年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定予算（案）について
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 意見あり | 0 件 | 意見なし | 1 0 件 |
| 承認する | 1 0 件 | 承認しない | 0 件 |

6 委員からの質問等

先の会議で配布いただいた「第 2 期千葉県国民健康保険運営方針」では、1 人当たり医療費は令和 2 年度以降、国・県ともかなり上昇しているようです。

今回の資料でも被保険者数減少の動向から、保険税調定額総額や医療費総額が頭打ちになっていく傾向は理解できるのですが、1人当たり医療費が令和5年度対前年比で減少している（議題2資料）のは何か理由があったのでしょうか。
令和7年度予算の1人当たり医療費や1人当たり調定額についても併せてお伺いします。

7 事務局からの回答

【回答】

令和5年度の医療費が前年度比減に転じた主な理由といたしましては、高齢者（65歳以上）における全体の医療費に対する割合の減少が挙げられます。

（参考 医療費に対する割合）

○前期高齢者（65歳以上74歳以下）	令和4年度	63.89%
	令和5年度	61.51%（▲2.38%）
○70歳以上一般（2割負担）	令和4年度	37.54%
	令和5年度	34.81%（▲2.73%）
○70歳以上現役並み（3割負担）	令和4年度	5.07%
	令和5年度	4.29%（▲0.78%）

これにより、前期高齢者の医療費が令和4年度と比較して、273,533,452円減少しています。（高齢者に対し、0歳から64歳までの医療費は、令和4年度と比較して12,130,502円（0.71%増）増加しています）

高齢者の医療費の減少は、特定健診・特定保健指導をはじめ、健康課などによる健康増進事業の成果が挙げられますが、慢性腎不全による人工透析などを必要とする「長期高額特定疾病該当者」は、令和4年度は43人に対し、令和5年度は46人と3人増加していることから、より効果的に特定健診・特定保健指導などをすすめ、生活習慣による疾病を予防・改善していくことにより、引き続き医療費の抑制に努めていく必要があると捉えています。

また、令和7年度予算における1人当たりの医療についてですが、被保険者数は減少していますが、1件当たりの医療費は増加していることから、これらを考慮して前年度比2%減としました。

	療養給付費（保険者負担分）	年度平均被保険者数	1件当たりの医療費	前年度比
令和3年度実績	3,432,447,086円	193,531件	17,736円	—
令和4年度実績	3,450,375,037円	192,954件	17,882円	0.8%増
令和5年度実績	3,427,833,689円	189,406件	18,098円	1.2%増

令和7年度予算における調定額につきましては、令和7年度被保険者数を過去5年間の平均被保険者数を基に医療分、支援金分11,200人（令和6年度から1,173人減）、介護分を3,460人（40歳から64歳まで、令和6年度から288人減）と推計し、令和6年度10月末日までの調定額等をもとに、一人当たり調定額、医療分78,521円、支援金分17,463円、介護分20,740円で計上しております。

令和6年度当初予算では、被保険者数を医療分、支援金分12,373人、介護分を3,748人（40歳から64歳まで）と推計し、一人当たり調定額、医療分73,900円、支援金分16,385円、介護分19,748円で計上しております。

令和7年度1人当たり調定額が、令和6年度と比較して、増額となっているのは、比較的所得の少ない高齢世帯が、後期高齢者医療制度に移行していることが要因と捉えております。

また、被保険者数の減としましては、主に団塊の世代（1947（S22）～1949（S24）年生）が全て令和6年に後期高齢者医療保険制度に移行したこと、令和6年10月から社会保険の適用拡大（企業規模要件の拡大（50人超企業））による国民健康保険加入者の減少が挙げられます。

使用した資料

1. 令和6年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第3号）について（報告1）
2. 令和6年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第4号）（案）について（議題1）
3. 令和7年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定予算（案）について（A4版）（議題2）
4. 令和7年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定予算（案）について（A3版）（議題2）
5. 令和7年度白井市国民健康保険特別会計事業勘定予算（案）について（A4版 【資料】）（議題2）
6. 白井市国民健康保険加入者のマイナ保険証登録率及び利用率について【参考資料】